



在日大韓基督教会
宣教110~120周年
標語
共に生きる
いのちの天幕を
広げよう

1963年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月一日発行)

2021年10月1日 (金) 第810号

発行所 福音新聞社 (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398 info@kccj.jp
発行人 趙永哲・編集人/金柄鎬

印刷所 青丘文化社

讃れも名もなく

<創世記50:1~6>



金鍾權牧師 (平野教会)

1980年代、韓国の大衆歌謡に叙情的な歌詞が多かったということに共感する中年の方々が多いでしょう。当時の歌の中で、今も鮮明に思い浮かぶ歌が一つあります。「君を送る野原に乾いた風が悲しく、僕が振り向いた空には 肌色の昼月が悲しい。長い間忘れていた涙があふれ、背中が曲がるような人生の重みよ。すぎされ。人よ、歳月に従って皆が歩いていく寂しいその道を……」この誰かが胸に嗚咽を漏らしてしまうような、ある中年女性歌手の歌は、死について考えさせるものがあります。

この死という重い命題の前で恐ろしく震え、わざとそっぽを向こうと慌ただしい日常に顔をうずめて生きている人も多いでしょう。一方、敬虔なキリスト者たちは、死の重さに押しつぶされず、むしろ信仰がより鮮明となり、恩恵にあずかる動機づけになることをよく知っています。

今日の本文は創世記という大叙事詩が終了する時点で、神の救済史の主役に選ばれたイスラエルの先祖ヤコブの臨終の瞬間を扱っています。

1節を見ると、ヨセフは亡くなった父の顔に体をかがめて泣きながら口づけしています。他の兄弟の機嫌を損ねるほど父の愛を独占したヨセフだったので、父の臨終に対する彼の気持ちも特別だと思います。

2節、3節では、エジプトの葬儀法に従って父の遺体を40日間かけてミイラに作り、70日間喪に服します。第4~6節では、ヤコブの遺言通りに父をカナンに埋葬するようにヨセフがファラオから許しを得ます。国葬で執り行われたヤコブの葬儀は、規模や費用、弔問客などから考えても、決して孤独な死とは思えません。

先月14日、韓国のヨイド(汝矣島)純福音教会のチョ・ヨンギ牧師が召天されました。この知らせはマスコミ各社のニュースでも報道されるほど、教会の内外で大きな話題になりました。ヤコブとチョ・ヨンギ牧師の葬儀は、多くの人々の送別の中で行われました。このように、ある死は多くの人々の哀悼の中、またある死は誰にも記憶されず寂しい死を迎えます。

神戸市の六甲山には神戸市立外国人墓地があります。そこにはウィリアム・ベントン・スクラントン(William Benton Scranton)宣教師やL.L.Young宣教師など、19世紀からの有名な宣教師や当時の外国人たちが葬られています。韓国の福音伝道において一時代を画したチョ・ヨンギ牧師のような、目を引く莊厳な死もあれば、讃れも名もなく人から注目も受けずに、この世から忘れ去られていった数多くの宣教師、牧師がい

たでしょう。そして、一方では「くすしき 御恵み 我を救い」という讃美歌のように救いの喜びを抱き、ただ神のみに仕え、讃れもなく名もなく一生を送った聖徒たちもどれほど多かったでしょうか。

在日大韓基督教会が日本において宣教を始めてから113年という時間が流れました。在日大韓基督教会は先輩たちの祈りと汗と涙で守られてきました。私たちも「讃れもなく名なく」であっても信仰のバトンを受け継ぎ、天国で信仰の先輩たちと会い、声を合わせて主を賛美する日を期待してもいいのではないでしょうか。

「そして、どんなことにも恥をかかず、これまでのようにも、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願い、希望しています。わたしにとつて、生きるとはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」(ピリピ1:20~21)

誰よりも祝福に関して強い執着で生きてきたヤコブ、それにもかかわらず、ファラオの前に立った時(創47:9)、「わたしの旅路の年月は130年です。わたしの生涯の年月は短く、苦しみ多く、わたしの先祖たちの生涯や旅路の年月には及びません。」と述べました。

今、私たちの執着は何でしょうか。この世での祝福でしょうか。それはいつまででしょうか。「私たちが死んだら自分のために涙を流してくれる人、花を置いてくれる人が何人になるか」このような考えにとらわれて生きていませんか。

この世を生きる中では、福音と共に生きられて良し、死ねば天国に行って主と共に永遠に住めるので良し、どのような状況においても良いとする信仰こそ、今のコロナ禍を生きる私たちに最も望ましい信仰ではないでしょうか。

虚しい死を歌った1980年代、ある歌手の歌を口ずさんだ少年の歌は今、「死なねばならないなら、死にます」という讃美の歌に代わっています。

カナンの地で葬られることを望んだ父ヤコブの遺言と、これに聞き従ったヨセフの親孝行の心を黙想しつつ、今私も、私たちが帰るべき本邦は天国であることをしっかり覚えながらこの厳しい時代をしっかりと乗り越えられることを切に願っています。

死は終わりではありません。

イエス様が十字架の上で死の力を打ち破りました。主を信じる者は誰でも復活され、永遠の御国に入れるようになりました。「死」はその恵みにあずかる通路です。この告白が共にできることを主の御名によって祈ります。

ルツ結婚相談所

在日韓国人・帰化人、結婚・再婚を望んでいる人へ
年齢 23歳~70歳まで、北海道から九州まで

親身になってご成婚までねばり強くお世話を
させていただきます。お気軽にお電話ください。

090-3429-9707 代表 崔貞淑

韓日対照讃頌歌販売



韓国の新讃頌歌版です。交読文も韓日対照で掲載されています。

- B6版変型・1483ページ
- 価格:2,500円(消費税・送料込み)
- ※お求めは総会事務所へ

第3回常任委員会開催 第56回定期総会への献議案など審議

第55回総会期第3回目の常任委員会が、9月23日、Zoomによるオンライン会議で開催され、常任委員21名中19名、特別委員長2名が参加して各種報告や案件審議、定期総会への献議案が審議された。

定期総会へ上程される主な献議案は以下である。

- (1) 関西地方会の「大阪平康教会解散」願いの件。
 - (2) 西部地方会の「地方会規則改正案」の件。
 - (3) 平和統一會議準備委員会の「第9回祖国の平和統一と宣教に関する基督者東京会議」の名称を「韓/朝鮮半島の和解と平和を祈る韓国・朝鮮・日本キリスト者会議」に名称変更要請の件。
 - (4) 「平和統一會議準備委員会」を特別委員会として設置要請の件。
 - (5) 教役者退職後の支援給付金規則と救済基金委員会の規定を制定する件。
 - (6) 総会規則変更の件。
- 憲法委員会は、新型コロナウイルスの蔓延防止措置のため緊急事態宣言が発せられ、また自然災害など想定外の事態が生じ、それにより憲法の定める定期総会の開催ができない場合、定期総会を中止または延期しなければならないが、総長会が任員会で協議し、常任委員会の承認を得て定期総会を中止または延期する。しかし現在根拠規定がないため規則の改正をおこなう。
- (7) 在日総会神学校の西新井教会に対する未払金（工事費など）返済協力要請の件。
 - (8) 神学考試委員会の細則改正の件。
 - (9) 各機関の理事、監査の推薦案など。
 - (10) 2022年度の予算案。

その他、

- ①第56回定期総会を11月23日、1日のみの会議のため、推薦された各運営委員の仕事を前倒して始めること、新総幹事選出においては、金柄鎬牧師を常任委員会推薦によって選挙を行うことを可決した。但し、金柄鎬牧師が総幹事に選出された場合規則によってその任期が2年となる。
- ②牧師の「在籍証明書」発行は、所属地方会経由で総会事務局に申請することを承認。（総会ホームページ所定用紙）
- ③総会手帳の個人情報管理のため、各教会の長老の情報（住所、電話番号など）を載せるか、載せないのかは各教会の判断によって行うことを承認。

高慶美長老就立式挙行 勧士就任式・名誉推戴式も同時に



教会設立100周年を迎えた大阪教会において、去る9月12日主日の午後、高慶美長老就立式、姜恩惠勧士就任式や名誉勧士と名誉執事の推戴式が行われた。

堂会長の鄭然元牧師の司会で開会された礼拝には、金武士牧師が「長老たちへの勧め」(Iペテロ5:1~5)という題で説教した。

関西地方会長の許伯基牧師の司式によって行われた高慶美長老就立式は、紹介、誓約、按手祈祷、宣布が出された。

引き続き行われた姜恩惠勧士就任式、金英淑名誉勧士推戴式と全永玉、趙明衍、朴京姫、梁官洙、安玉子、文仁權、梁玉潤名誉執事の推戴式は堂会長の鄭然元牧師の司式にもとで行われた。

この度、大阪教会で就立された高慶美長老は、1958年韓国生まれ、2004年から執事、2014年から勧士として奉仕した。現在関西地方会女性会連合会の会長も務めている。

オンライン研修会開催 牧師の任期制などについて講義

2021年7月23日13時～15時に全国長老会研修会がオンライン（ZOOM）で行われた。

主題講演は、「教役者任期制を考える～健全な神の畑とするために」と題して京都南部教会許伯基牧師が行い、その後『なぜ任期制なのか？それは可能なのか？』について許伯基牧師と豊中第一復興教会朴栄子牧師による対談が行われた。

当日の参加者は合計43名（牧師5名、長老30名、名女性会8名）。質疑応答もあり今後、全国長老会、女性会においても継続課題として扱う準備をする事とした。

（報告：書記 森克之）



趙原徹牧師委任式挙行 2019年11月に三沢教会に赴任



去る2021年9月20日関東地方会において、三沢教会の趙原徹牧師の委任式が行われた。

臨時堂会長の李明信牧師の司会で開会された礼拝では、関東地方会副会長の申大永長老の祈祷、関東地方会副会長の金容昭牧師の「教会が目指すところ」（行2:42～47）という題の説教があった。

引き続き関東地方会長の李明忠牧師の司式により始まった牧師委任式には、誓約と祈祷、宣布が出された。副書記の李在益牧師の勧勉、金柄鎬総幹事の祝辞が述べられた。

委任された趙原徹牧師は、1977年韓国で生まれ、牧園大学校管弦楽科、長老会神学大学校神学大学院を卒業し、2014年牧師按手を受けてから2017年に大韓イエス教長老会（統合）総会から宣教師として日本に派遣された。その間、語学勉強と牧会インターン過程を関西地方会平野教会で行い、2019年11月に三沢教会に赴任した。

家族は夫人と2女がいる。

9月号の訂正とお詫び

2021年9月号の2面の裴貞愛牧師委任式の李相萬長老の生年月日の生まれ年が間違っていましたので、お詫びと訂正致します。正しくは「1960年」でした。

全国女性会

「もりもりフードパントリー」 ひとり親・移住外国人家庭への 食糧支援、1年間継続することに

コロナ禍による突然の解雇や雇い止めにより多くの方が困難な状況にある中、特にしわ寄せがくるのが移住外国人や子どもたちです。そこで、全国教会女性連合会では食事も十分に取ることが出来ない子どもたち、外国にルーツのある家庭への食料支援を2020年10月から2021年5月までトライアル期間として開始しました。トライアル期間が終了し、今後の検討をする中、コロナ禍の状況を鑑み来年5月まで1年間継続することを決定しました。

*活動I. 食料支援

毎月最終土曜日13時～15時に全国女性会事務所にて無料配布
配布物：お米・インスタント・レトルト食品・パスタ・缶詰など
食糧配布：2020年10月6家庭 11月18家庭 12月13家庭
2021年1月11家庭 2月12家庭 3月27家庭 4月30家庭 5月44家庭 6月33家庭 7月42家庭 8月43家庭

*活動II. 生理の貧困

経済的困窮や様々な理由で生理用品を購入できない女性が5人に1人いるという統計があります。生理用品を満足に購入できないことは、学びの場や仕事を奪われ、夢を諦めざるを得ない「機会の喪失」となります。2021年4月から「もりもりフードパントリー」と同日に生理用品の入手が困難な方に無料配布



開始しましたが、半数以上の方々が希望されます。生理用品にまでお金をかけられないというお声もいただき、とても必要な活動であると感じています。

*活動III. 5地方への支援

小・中学校の長期休暇(春・夏・冬休み)は給食がなく、食事が取れない子どもが多くいます。そこで5地方にある子ども・外国人支援施設へお米を支援します。トライアル期間を経て、休みごとに支援先を変えるのではなく、年間で支援することを決定。

<支援先>

トライアル期間：春休み お米2kg 25袋

関東・横浜市 在日外国人教育生活相談センター信愛塾、中部・豊田市トルシーダ、関西・大阪市 CPAO、西部・明石市多文化センターまんまるあかし、西南・岩国市とりで年間支援：夏休み お米2kg 40袋

関東・足立区OHANパントリー、中部・豊橋市トルシーダ、関西・京都市 happiness、西部・広島市広島こども食堂支援センター 西南・岩国市 とりで

トライアル期間も含め、たくさんの方々からご支援・ご協力を賜り心より感謝いたします。月に一度の支援ではありますが、この活動を通して出会う方々のこころと体が守られますよう、ともに祈りにおぼえていただければ幸いです。

(報告：石橋真理恵総務)

神学生・宣教師研修会開催 Zoom研修会として行われ、5名が参加

2021年度総会神学生と総会加入宣教師の研修会が、8月29日、主日の夕方から9月4日（土）まで、昨年に続いてZoom研修会として行われ、宣教師1名、神学生4名が参加した。

教育科目としては、在日大韓基督教会の神学と宣教理念、歴史、憲法と規則、在日同胞や在日大韓基督教会の歴史、日本のキリスト教会の神学、教会史、異端宗教、エキュメニカル神学、在日大韓基督教会における牧会、儀式と礼典などが講義された。

今回の研修会に参加した研修生は、金清坤牧師（大韓イエス教長老会、統合）、曹恩注（品川教会神学生）、高大韓（京都教会神学生）、韓宣榮（大阪教会神学生）、具本曙（京都教会神学生）である。



福音新聞11月号休刊のお知らせ

福音新聞2021年11月号は都合により休刊いたします。

仙台教会牧師請聘

資格：在日大韓基督教会所属牧師

年齢：60歳まで（1961年生まで）

連絡処：仙台教会請聘委員会

(sendaich21@gmail.com)

臨時堂会長 張慶泰牧師

第19回 国際シンポジウムを開催

コロナ感染拡大が止まないなか、9月6日に「韓国・日本・在日教会<移住民>国際シンポジウム」をオンラインで開催した。韓国基督教教会協議会正義と平和委員会／外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会（外キ協）／日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会、三者の共催によるシンポジウムを開催し、基調報告、韓日両側からの発題、最後には共同声明を採択し、今後の共同課題を確認した。

<第19回 日・韓・在日教会<移住民>国際シンポジウム 共同声明>

「あなたは寄留者を虐げてはならない。あなたたちは寄留者の気持を知っている。あなたたちは、エジプトの国で寄留者であったからである。」（出エジプト記23：9）

韓国基督教教会協議会と日本キリスト教協議会、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会は、日・韓・在日教会が置かれた現状を共有し、さらなる協力関係を構築するために、2021年9月6日、オンラインにて「歴史と向き合う移民社会と東北アジアの和解と平和——COVID-19危機下の日・韓・在日教会の宣教課題を考える」という主題のもと、第19回国際シンポジウムを開催した。

COVID-19パンデミックが始まってから1年半を経過した。COVID-19を契機として社会の中のさまざまな歪みが、韓日両国において明らかとなっている。多くの移住民が社会保障からこぼれ落ち、差別の中で苦境に立たされている。

日本社会において移住労働者は、自由の制限を受けるだけでなく、生活保障を受けることもなく放置されているケースが後を絶たない。日本政府は、外国人法制度において、過去数十年にわたって国際人権諸条約の基準に達していないことを指摘されて続けてきたにも関わらず、これを放置し続けている。こうした現在にまで到る日本の差別的な外国人政策と法制度は、過去の侵略と植民地支配の歴史と真摯に向き合うことなく植民地主義思想が残ってきたことと深く結びついている。

韓国社会において、そもそも社会の中で脆弱な立場に置かれていた移住労働者は、COVID-19パンデミックによって、より劣悪な状況へと追いやられることになった。分断という歴史の中で国家主義的で単一民族志向の価値観が強調されてきたために、移住民に対する排他的・人種主義的な価値観が根強く残ってきた。雇用許可制の下で劣悪な就労環境から逃げることもできないまま、移住労働者はCOVID-19の蔓延によって生存権も脅かされることとなった。

そのような中、2020年韓国においては市民運動の結果、地方自治体の災害緊急支援金政策において外国人籍の住民を除外することは平等権侵害であるとの国家人権委員会の勧告を引き出し、最終的にソウル市は、国家人権委員会の勧告に基づいて外国人への災害緊急生活費を支給した。また日本にお

いては2020年、生活支援をまったく受けられない難民申請者や未登録外国人への緊急募金が市民団体によって行われた。2021年には多くの市民の抗議の声によって、「出入国管理及び難民認定法」（入管法）の改悪案が廃案へと追い込まれることとなった。それぞれの社会の中での「市民の声」は、人種主義・植民地主義を克服する可能性を有していることを改めて確認することとなった。

急速にグローバル化が進む中で、日本も韓国も実質的な「移民社会」となっている。このような中で共生社会を実現する使命を日・韓・在日教会が担うためには、それぞれがこれまでの歴史とどう向き合ってきたのかを共有し、和解と平和とを実現するための課題を共に考え、協働することが今まで以上に必要となっていることを、私たちは確認した。

私たちの平和であり、敵意という隔ての壁を取り壊されるキリスト（エフェソの信徒への手紙2：14）に従う群れである日・韓・在日教会は、和解と平和を実現し、すべての人の命と尊厳が守られる世界を形成していくために、協力と連帯をさらに確かなものにすることを決意し、下記のように共同課題を宣言する。

1. 日・韓・在日教会は、共に和解と平和の実現を求め、すべての差別に立ち向かい、すべての人の命と尊厳が守られる共生社会の実現をめざす。
2. 私たちは、韓国における包括的差別禁止法の制定、日本における外国人住民基本法と人種差別撤廃基本法の早期実現のために力を尽くす。
3. 私たちは、植民地主義、人種主義を乗り越え、共に生かし合う社会と教会を形成するために、互いの課題と成果を共有するネットワーク作りを推進する。
4. 私たちは、日・韓・在日教会が出会い、歴史教育・平和教育・人権教育をより豊かにするため学び合うプログラムを推進する。
5. 私たちは、移住民の権利保障が福音宣教の根幹であることを深く認識し、その実現のためにアジアと世界の諸教会との協働を推進する。
6. 私たちは、以上の共同課題に取り組んでいくために日・韓・在日教会の連帯と協力をさらに強化していくことを確認し、第20回国際シンポジウムを2022年、韓国で開催する。

讃頌歌委員会より「子どもさんびか」が発行されました。

主の祈り・使徒信条・交説文・十戒 集録
(いずれも韓国語・日本語)
一冊1,000円
お問い合わせは総会事務局へ
電話 03-3202-5398



豊かな味、豊かな心。



代表取締役 吳 永錫 (東京希望キリスト教会 長老)
四谷本店: 東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100